

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

洪水を一時的に貯めるための調節池をつくります

地元の声

・近年の集中豪雨等により、浸水被害が生じないよう、対策をして欲しい。(地元住民)

事業の概要

■ 事業箇所:高崎市綿貫町～大八木町

■ 事業内容:調節池 4箇所

■ 事業期間:令和元年度～

■ 調節池面積: 16.5万m²(4箇所合計)

■ 調節容量 : 49.6万m³(4箇所合計)

事業前

◆ 集中的な降雨があった際、河川への流入量が増え、浸水被害が発生するおそれがあります。

宿大類調節池 (計画)



事業前の状況

事業後

◆ 調節池に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入量を減らし、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。

調節池

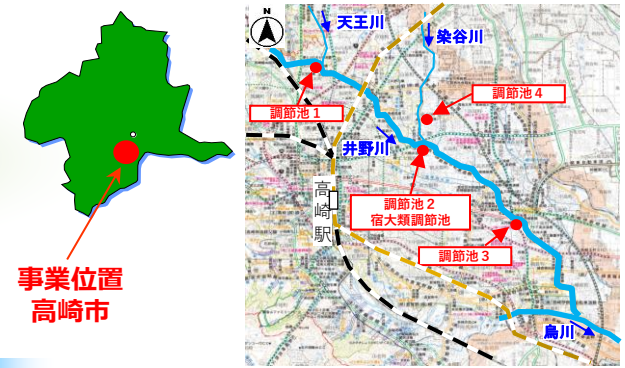


事業後のイメージ

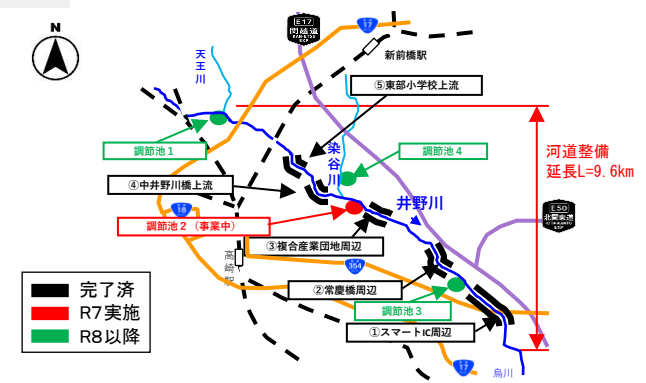
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	537ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	8,061戸

実施後(目標)
0ha
0件

※河道整備及び調節池整備の実施後による効果



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は引き続き、用地取得を実施します。

